

#### 4 今後の展望・方向性

拠点は、比較的規模の大きい施設ではあるが、各区1か所であり、利用対象は未就学児と養育者である。誰もがいつまでも拠点を利用できるわけではない。

保育所・幼稚園への就園、小学校への就学、その先も続く子育てを支え、何より子ども自身の育ちを支えるためには、乳幼児期から親しんだ、地域の住民や関係団体のスタッフなど、親子ともに困った時に「お互いさま」で助け合える人間関係を、できるだけ多く作り上げることが重要である。その一翼を担うのも、拠点の役割である。

また、拠点は、子育て世代と地域をつなぐ役割だけでなく、子育てを支援する関係者どうしをつなぎ、そうした方の活動を支える役割も担っている。区と協働で子育て支援連絡会を開催し、中には地区別の取組を進めている拠点もある。このような活動を通して、子育て家庭の課題や居場所での支援の大切さを地域住民に伝えている。

このような活動を進める際に不可欠なのは、地域の関係機関や団体と連携を図り、地域に根付いて活動することであり、住民の拠点事業への理解と協力である。

拠点は、行政の委託事業であるが、同時にNPO法人、社会福祉法人等様々な事業者との協働事業でもあるため、各区における子育ての課題に応じて、各事業者の特性を生かして柔軟に事業展開することが期待されている。

しかしながら、その柔軟さゆえに、取組が進むにつれ各区の取組に差が見られることも、また事実である。

18区の拠点整備が完了したことを踏まえ、今後、拠点が進むべき方向性について、本市と拠点運営法人でさらに議論を深めていく必要がある。

拠点事業が始まる前、地域における子育て支援は、区役所保健師や地域ケアプラザと民生委員・主任児童委員、自治会町内会等、地域住民が作り上げてきたいわゆる「子育てサロン」の運営や、子育て支援者の子育て相談等による支援が中心であった。そこに新たに拠点が加わったわけであるが、当初は、各区とも必ずと言っていいほど地域住民から「『地域子育て支援拠点』とは何のための施設なのか?」という声が聞かれた。

このような状況の中で、まずは拠点の対象や役割を地域

住民に向けて伝えるところから進めてきた。地域の様々な会合や地域のイベントに出向くなど多くの機会を通じて理解を得ることに努め、地域の拠点事業への理解・応援を得ながら、地域に根付いた施設となれるよう取組を積み重ねてきた。

地域住民と子育て世代とをつなぎ、新たな取組を創り出す役割は、地域ケアプラザ及びそのコーディネーターも各地域で工夫を重ねながら担ってきており、今後さらなる取組を進めていくには、双方の強みを生かしながら、連携を強化していく必要がある。

また、「地域の関係機関や団体」と、「この10年間で充実してきた子育て支援の場」との関係性を整理し、今後のあり方について検討していく必要がある。その上で、「子育て」という分野だけでなく、「地域」の課題をふまえて、どのように「子育て支援」を展開されることが望ましいのか、地域福祉保健計画も踏まえながら取組を進めることが求められる。

また、拠点では、個別支援の必要性も高くなっており、不適切養育の発見や早期対応など、虐待の未然防止も含め、必要な支援につなげる重層的

な支援体制が必要になっている。

現在、横浜子育てサポートシステム事業（注6）の区支部事務局の拠点への移管を進めており、地域住民とともに地域での子育て家庭の見守り、支え合い活動を展開していくことも期待されている。

親支援とともに子どもの健やかな育ちへの支援を中心に置いて、地域に根ざしたきめ細かい支援が一層進められるよう、引き続き市民・行政の協働による「居場所」づくりの取組を進めていくことが必要である。

## コラム

### 子育て支援における一時預かりの役割

子育て中は、保護者の通院など、子どもを預けて対応しなければならないことも多い。また、子どもと密着した生活に余裕がなくなったときなど、時には子どもと離れて自分の時間を持ち、リフレッシュすることも必要である。そのため、一時的な預かりの事業を行っている。

本市では、一部の認可外保育施設で、「乳幼児一時預かり事業」を実施している。この事業では、事前に登録・予約を行い1時間300円以下で、市内居住の生後57日～未就学児を、理由を問わずに預けることができる。

《施設数（平成25年2月現在）：14施設》

（平成23年度実績 延べ預かり児童数：30,881人 延べ預かり時間：154,163時間）

〔注6〕横浜子育てサポートシステム  
「子どもを預かってほしい人」が利用会員として、「子どもを預かる人」が提供会員として登録し、会員相互の責任と信頼関係のもとに子どもの預け、預かりを行うシステム。  
利用会員は、保育所の送迎など保護者の就労にかかる援助をはじめ、学校行事や冠婚葬祭、リフレッシュしたい場合などに利用できる。  
（平成24年3月現在の会員数・提供会員1,468人、利用会員6,320人、両方会員613人）